

一般社団法人 しちのへ観光協会設立趣意書

当町が抱える人口減少や地域経済の衰退といった問題と向き合う中、平成 22 年 12 月東北新幹線七戸十和田駅が開業しました。駅開業を地域の経済振興や住民の生きがいに繋げるため、平成 27 年 3 月「七戸町観光振興計画」を策定し、観光理念と基本方針を掲げ、町内企業、住民そして行政が一つとなって地域発展のために邁進していくことを誓い合いました。

昭和 35 年の設立から半世紀を迎えた七戸町観光協会は、官民が一体となり、地域振興を行う基盤組織へと発展を遂げるため、「一般社団法人しちのへ観光協会」として生まれ変わります。

従来のイベント中心の事業から、来訪者が一分一秒でも七戸に滞在してもらうための仕掛けづくりと受け入れ体制の充実、七戸「らしさ」と「ならでは」の魅力を守り育てる事業へと転換して参ります。

七戸町観光協会が培ってきた多くの財産を継承、発展させ、観光事業者はもとより農業、商工業といった地場産業や町内で活動されている各種団体、住民の方々、更には近隣市町村の方々とも連携を深め、地域資源を活かした観光地域づくりを先導かつ実践し、地域振興に寄与して参ります。

七戸町に住む人も、訪れる人も、町内で過ごす時間が「幸せ」を「感じる」時間となり、心の豊かさを育む「感幸(かんこう)」を永続的に取り組んでいく「一般社団法人しちのへ観光協会」で在り続けることを誓い設立を宣言します。

平成 29 年 5 月 1 日

一般社団法人しちのへ観光協会設立発起人

株式会社七戸物産協会

代表取締役 宮 沢 公 生

七戸町長 小 又 勉